



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 キーウェアソリューションズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3799 URL <http://www.keyware.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三田 昌弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 野本 萬年 (TEL) 03-3290-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,056	4.9	274	40.8	229	71.4	240	100.3
25年3月期第3四半期	11,492	9.5	194	—	133	—	120	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 256百万円( 98.4%) 25年3月期第3四半期 129百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	28.91	—
25年3月期第3四半期	13.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,678	5,767	59.6
25年3月期	9,875	5,774	58.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 5,767百万円 25年3月期 5,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	7.8	600	11.9	530	0.8	530	△9.2	62.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	9,110,000株	25年3月期	9,110,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	953,599株	25年3月期	607,530株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	8,328,647株	25年3月期3Q	9,070,206株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	11
(受注の状況) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、外需においては、米国は企業業績の改善、欧州は緩やかな景気回復が継続している反面、新興国の景気は成長鈍化傾向が顕在化しております。一方内需においては、消費税増税の駆け込み需要や公共投資が本格化し、国内景気は上昇傾向が増しております。

経済産業省の特定サービス産業動態統計によれば、情報サービス産業の11月の売上高は、前年同月比2.9%増と4ヵ月連続の増加となり、売上高全体の半分弱を占める「受注ソフトウェア」は同比2.9%増増加いたしました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、受注高は12,723百万円(前年同四半期比608百万円増、5.0%増)、売上高は12,056百万円(同563百万円増、4.9%増)、営業利益は274百万円(同79百万円増、40.8%増)、経常利益は229百万円(同95百万円増、71.4%増)、四半期純利益は240百万円(同120百万円増、100.3%増)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

## ① コンピュータソフトウェアの開発を受託して行う事業

## a. 公共システム開発事業

受注高は3,338百万円(前年同四半期比507百万円減、13.2%減)、売上高は3,536百万円(同39百万円増、1.1%増)、営業利益は45百万円(同46百万円減、50.7%減)となりました。

受注高につきましては、通信系の大幅な減少に伴い前年同四半期を下回る結果となりました。売上高につきましては、通信系において大幅な減少はあったものの、官公庁、金融、報道系において、案件獲得を積極的に推進したことにより堅調に推移しました。損益面においては通信系の大幅な売上高の減少や、官公庁系において一部の不採算プロジェクトの発生に伴い前年同四半期比で減益となりました。

## b. ネットワークシステム開発事業

受注高は1,628百万円(前年同四半期比352百万円増、27.7%増)、売上高は1,378百万円(同254百万円増、22.7%増)、営業利益は76百万円(前年同四半期は20百万円の損失)となりました。

航空宇宙系、ネットワーク監視系各分野において、継続・新規案件の受注獲得を積極的に推進したことにより、受注高、売上高ともに前年同四半期比で大幅に増加し、損益面においても利益計上となりました。

## ② お客様の経営課題を解決するための経営とITの統合コンサルティングからシステム開発・運用・保守に至る各フェーズで最適な情報技術を請け負う事業

## a. システムインテグレーション事業

受注高は1,847百万円(前年同四半期比805百万円増、77.4%増)、売上高は1,543百万円(同306百万円増、24.8%増)、営業利益は50百万円(前年同四半期は47百万円の損失)となりました。

運輸系においては、大型のリプレイス開発案件の受注獲得を推進したことにより好調に推移いたしました。医療系においては、電子カルテ、オーダリング案件を軸に、継続・新規案件の受注獲得を積極的に推進したことにより、受注高、売上高、利益ともに好調に推移いたしました。

## b. ITサービス事業

受注高は3,126百万円(前年同四半期比154百万円減、4.7%減)、売上高は3,000百万円(同28百万円減、0.9%減)、営業利益は142百万円(同18百万円減、11.6%減)となりました。

インフラ構築およびERP系の業務において、継続・新規案件の獲得を積極的に推進しましたが、受注高、売上高、利益ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

## c. サポートサービス事業

受注高は697百万円(前年同四半期比64百万円増、10.2%増)、売上高は682百万円(同80百万円増、13.3%増)、営業損失は8百万円(前年同四半期は32百万円の損失)となりました。

SO(System Outsourcing)業務において、継続・新規案件の獲得を積極的に推進したことにより、受注高、売上高ともに前年同四半期比で増加いたしました。損益面においては、既存顧客からの発注単価低下等の要因はあったものの、受注高、売上高の増加に伴い損失計上額は縮小となりました。

③ その他

拠点として地域性をもち独立した経営単位のセグメント、および報告セグメントに含まれない機器販売等であります。

受注高は2,084百万円(前年同四半期比46百万円増、2.3%増)、売上高は1,914百万円(同89百万円減、4.5%減)、営業利益は96百万円(同59百万円増、161.7%増)となりました。

受注高は、各拠点において、継続・新規案件の獲得を積極的に推進したことにより堅調に推移いたしました。売上高は、前年同四半期比で減少となりましたが、損益面では、受注獲得による稼働率の向上などにより、大幅な増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 流動資産

流動資産残高は、5,448百万円(前連結会計年度末比335百万円減、5.8%減)となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加であります。

② 固定資産

固定資産残高は、4,230百万円(前連結会計年度末比138百万円増、3.4%増)となりました。主な増加要因は、ソフトウェア仮勘定の増加であります。

③ 流動負債

流動負債残高は、2,490百万円(前連結会計年度末比501百万円減、16.8%減)となりました。主な減少要因は、短期借入金の減少、1年内返済予定の長期借入金の減少であります。

④ 固定負債

固定負債残高は、1,420百万円(前連結会計年度末比311百万円増、28.1%増)となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加であります。

⑤ 純資産

純資産残高は、5,767百万円(前連結会計年度末比6百万円減、0.1%減)となりました。主な増減要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、「従業員持株会信託型E S O P」の導入に伴う自己株式の取得による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結予想につきましては、現時点において平成25年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(従業員持株会信託型E S O Pの導入と会計処理)

当社は、当社グループの従業員に対する福利厚生制度を拡充するとともに、株価上昇へのインセンティブ付与により従業員の経営参画意識を一層高め、当社の中長期的な企業価値の向上を図ることを目的として、従業員向けインセンティブ・プラン「従業員持株会信託型E S O P」(以下「E S O P信託」という)の導入を決定し、平成25年8月19日付けで信託契約を締結いたしました。

E S O P信託による当社株式の取得および売却については、当社がE S O P信託の債務を保証しており、経済的実態を重視し、当社とE S O P信託は一体であるとする会計処理を行っております。したがってE S O P信託が所有する当社株式については、四半期連結財務諸表において自己株式として処理しております。また、E S O P信託の資産および負債ならびに費用および収益については、四半期連結財務諸表に含めて計上しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日におけるE S O P信託が所有する当社株式の数および簿価は、346,000株、178,657千円であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	638,868	774,769
受取手形及び売掛金	4,476,856	3,441,738
商品及び製品	164,113	207,611
仕掛品	235,426	678,728
その他	273,026	348,810
貸倒引当金	△3,981	△3,008
流動資産合計	5,784,310	5,448,650
固定資産		
有形固定資産	154,787	140,120
無形固定資産		
のれん	590,341	561,081
その他	245,983	382,977
無形固定資産合計	836,325	944,058
投資その他の資産		
投資有価証券	2,878,820	2,872,580
その他	223,182	274,951
貸倒引当金	△1,698	△1,698
投資その他の資産合計	3,100,304	3,145,833
固定資産合計	4,091,417	4,230,013
資産合計	9,875,728	9,678,663
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	733,203	683,942
短期借入金	750,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	300,000	185,000
未払法人税等	26,632	18,843
賞与引当金	214,883	157,436
受注損失引当金	6,815	51,735
その他	960,469	993,273
流動負債合計	2,992,004	2,490,230
固定負債		
長期借入金	1,000,000	1,302,766
資産除去債務	91,456	92,895
その他	17,423	24,921
固定負債合計	1,108,879	1,420,584
負債合計	4,100,884	3,910,814

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,737,237	1,737,237
資本剰余金	507,237	507,237
利益剰余金	3,672,651	3,828,430
自己株式	△159,181	△337,869
株主資本合計	5,757,944	5,735,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,899	32,812
その他の包括利益累計額合計	16,899	32,812
純資産合計	5,774,843	5,767,849
負債純資産合計	9,875,728	9,678,663



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	11,492,982	12,056,469
売上原価	9,400,073	9,891,215
売上総利益	2,092,908	2,165,253
販売費及び一般管理費	1,898,120	1,890,978
営業利益	194,788	274,275
営業外収益		
受取利息	2,940	2,919
受取配当金	1,789	2,164
助成金収入	4,780	5,271
持分法による投資利益	—	10,100
その他	3,757	5,755
営業外収益合計	13,267	26,210
営業外費用		
支払利息	26,253	28,943
支払手数料	40,564	39,983
持分法による投資損失	5,715	—
その他	1,767	2,348
営業外費用合計	74,301	71,275
経常利益	133,754	229,209
特別利益		
事業譲渡益	—	27,694
ゴルフ会員権売却益	2,243	—
特別利益合計	2,243	27,694
税金等調整前四半期純利益	135,998	256,904
法人税等	15,758	16,100
少数株主損益調整前四半期純利益	120,239	240,804
四半期純利益	120,239	240,804

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	120,239	240,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,160	15,493
持分法適用会社に対する持分相当額	1,002	420
その他の包括利益合計	9,163	15,913
四半期包括利益	129,402	256,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,402	256,717
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第2四半期連結会計期間から導入いたしました「従業員持株会信託型E S O P」の信託契約に基づき自己株式の取得および売却を行っており、当第3四半期連結累計期間における取得による増加が189,965千円、売却による減少が11,308千円となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が178,657千円増加しており、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は337,869千円となっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	公共システム 開発事業	ネットワーク システム開発 事業	システムイン テグレーション 事業	I Tサービス 事業	サポートサー ビス事業	
売上高						
外部顧客への売上高	3,496,997	1,123,544	1,236,506	3,029,324	602,044	9,488,417
セグメント間の内部売上高 又は振替高	67,861	—	6,149	90,639	241,081	405,732
計	3,564,858	1,123,544	1,242,656	3,119,964	843,126	9,894,150
セグメント利益又は損失(△)	91,198	△20,101	△47,133	160,746	△32,351	152,358

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	2,004,564	11,492,982	—	11,492,982
セグメント間の内部売上高 又は振替高	240,744	646,477	△646,477	—
計	2,245,309	12,139,460	△646,477	11,492,982
セグメント利益又は損失(△)	36,731	189,090	5,698	194,788

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、拠点として地域性をもつ独立した経営単位のセグメントおよび機器販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額5,698千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	公共システム 開発事業	ネットワーク システム開発 事業	システムイン テグレーション 事業	I Tサービス 事業	サポートサー ビス事業	
売上高						
外部顧客への売上高	3,536,940	1,378,418	1,543,387	3,000,662	682,374	10,141,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74,861	560	13,129	99,557	268,418	456,526
計	3,611,801	1,378,978	1,556,517	3,100,220	950,792	10,598,309
セグメント利益又は損失(△)	45,002	76,890	50,414	142,134	△8,074	306,367

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	1,914,685	12,056,469	—	12,056,469
セグメント間の内部売上高 又は振替高	455,720	912,246	△912,246	—
計	2,370,405	12,968,715	△912,246	12,056,469
セグメント利益又は損失(△)	96,123	402,491	△128,216	274,275

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、拠点として地域性をもつ独立した経営単位のセグメントおよび機器販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△128,216千円は、セグメント間取引消去および各報告セグメントに配分していない全社費用等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(受注の状況)

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、以下のとおりであります。

	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
公共システム開発事業	3,338,125	△13.2	1,599,010	△6.7
ネットワークシステム開発事業	1,628,806	27.7	518,566	13.4
システムインテグレーション事業	1,847,628	77.4	883,563	115.9
ITサービス事業	3,126,746	△4.7	1,248,153	△5.3
サポートサービス事業	697,026	10.2	223,731	△5.3
その他	2,084,971	2.3	729,926	△4.6
合計	12,723,305	5.0	5,202,952	6.2

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。